

公共施設再編計画に市民が“待った!”

『さるびあ図書館の存続求める請願』全会一致で採択

2018年
3月議会

中学校給食

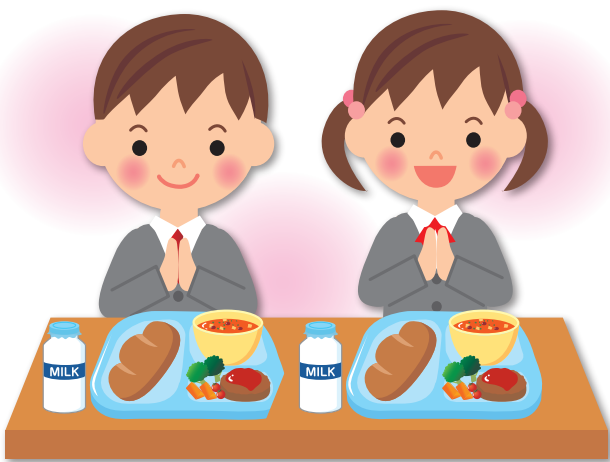
年金で入れる特養ホーム

公約実現に全力奮闘



左から細野りゅう子、佐々木とも子、田中美穂、とのむら健一市議 5.1三多摩メーデー、井の頭公園

2018年第1回定例会（3月議会）が、3月9日から29日まで開かれました。市長・市議会議員選挙直後の市議会には、石阪丈一市長の「当面の施政方針」がだされ、日本共産党市議団4人は一般質問や常任委員会審査に全力で奮闘しました。一般会計予算は約1465億円、特別会計は約1124億円、合計2589億円が提案され、党市議団は、鶴間公園や野津田陸上競技場への5千席のスタンド整備など「4つの森」構想に莫大な税金（約200億円）を投入し、大型開発を優先する新年度予算に反対しました。また、町田市の公共施設再編計画に対して市民から提出された「さるびあ図書館の存続求める請願」は、全会一致で採択されました。



全員給食が始まった川崎市



保護者の満足度

一般質問で、こうした声を取り上げ、中学校全員給食を求めました。しかし、市は、「2017年7月に実施した中学校給食に関するアンケートでは、選択制の給食を望む声が多い。」「ニーズに合ったもの



田中美穂 市議は、3月の第一回定例会の一

中学校でも小学校のような給食を実施してほしい」という声が、選挙中たくさん寄せられました。シングルファザーの方からは「中学生の子どもが、業者のあっせん弁当を頼みたくないと言う。弁当は作ってあげられないので、全員給食を実現してほしい」と切実な訴えも寄せられました。

であり、全員給食の実施は考えていない。」と市民の願いに背を向けています。答弁の根拠となった市のアンケートでも、保護者は半数が全員給食を望んでおり、自由記述欄にも、今の選択制への不満や、小学校と同じような給食をしてほしいという意見が多数書かれています。町田市は、この声を受け止め、町田市の責任として、中学校全員給食に踏み出すべきです。お隣の川崎市では、昨年12月から全員給食が始まりました。中学校給食が始まったことについて、肯定的に評価している保護者は約98%と、たいへん好評です。町田市中学校全員給食を実現するため、みなさんとともに、さらに全力を挙げて取り組んでいきます。

あたたかい中学校全員給食実現を

日本共産党
町田市議団ニュース

2018年5・6月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●post@jcp-machidashigidan.jp

日本共産党町田市議団

検索